

テーマ：多文化の共生 対象：地域住民 主催：広島市三篠公民館

# G-③みささ日本語交流ひろば

地域を学ぶ

地域でつながる

○

地域に還す

○

## 1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
令和3年 12月8日(水)～	三篠公民館	○やさしい日本語講座実施に向けてのミーティング ・(公財)広島平和文化センターと相談や打合せを進める。
令和4年 2月27日(日) 10:00～12:00	三篠公民館 (オンライン)	○外国人とコミュニケーションをとるためのやさしい日本語講座 ・外国人に関わる地域の実情ややさしい日本語の必要性について学習する。 ・外国人とやさしい日本語で話すコツについて学習する。
3月13日(日) 10:00～12:00	三篠公民館	○新規クラブ発足に向けたスタッフミーティング ・開催スケジュールや活動内容などについてアイデアを出し合い、クラブ発足に向けて準備をする。
4月17日(日) 10:00～12:00	三篠公民館	○第2回スタッフミーティング ・外国人を迎えるための活動開始に向け、目的や内容を整理する。 ・外国人を呼び込むための広報活動を開始する。
5月15日(日) 10:00～12:00 13:00～15:00	三篠公民館	○みささ日本語交流ひろば“にじいろ”スタート ・参加しやすいよう、第3日曜日午前・午後の2部制で開催する。 (8月以降は、第1・3日曜日 10:00～12:00) ・外国人参加者のニーズに沿ったグループに分かれて活動する。 ・運営はボランティアスタッフがを行い、公民館はそれをサポートする。



対象

地域住民

経費

無料

連携先

(公財) 広島平和文化センター国際交流・協力課

問合せ先

広島市三篠公民館

〒733-0004 広島県広島市西区打越町 10-23

電話：082-237-3077 ファクシミリ：082-237-3077

## 2 講座設定の理由（学習の目的）

○外国人とコミュニケーションをとるための“やさしい日本語”を知る学習機会を提供し、多世代・多国籍の地域住民が対話と交流を楽しむ場づくりを支援する。

## 3 学習目標

○外国人居住者とコミュニケーションを図るために、“やさしい日本語”が有効であることがわかる。  
○“やさしい日本語”でコミュニケーションを図り、交流を楽しみながら、外国人居住者と共に地域住民同士の連帯感を高める。

## 4 事前に必要な知識や準備物

○講師や外部団体（異文化理解・多文化共生に関わる団体、NPO法人等）との連携を行う。  
○職員も“やさしい日本語”についての基礎を学ぶ。

## 5 留意点

○地域住民との日常的な交流から、多文化の共生についてのニーズを把握したりボランティアを発掘したりする。  
○その場限りの学習にせず、地域住民と外国人居住者の持続的な学びの場になるよう長期的な視野で事業を計画する。  
○地域行事への参加や、調理など実習を伴う活動も取り入れながら、“やさしい日本語”でコミュニケーションをとる機会を提供する。

## 6 成果

○外国人とのコミュニケーションに役立つ“やさしい日本語”がどのようなものか、基礎的なことを知ることができた。  
○在日外国人の状況やどんな気持ちで関わっていけばいいのか、お互いを尊重した関わり方について学ぶことができた。  
○“やさしい日本語”講座の受講者以外にも、多くの地域住民がボランティアスタッフとしてクラブ運営に参加しており、多文化共生に取り組む積極的な住民の輪が広がっている。

## 7 課題

○“やさしい日本語”講座は、コロナ対策として急遽オンライン開催となったため、参加できなくなった希望者も多くいた。  
○外国人居住者との対話には、思った以上に“やさしい日本語”が必要で、ボランティアスタッフの“やさしい日本語”スキルの向上が求められる。  
○外国人居住者にどのようにアプローチしていくか、SNSを活用した広報や継続参加のための日常的なフォローなどが課題である。

## 8 今後に向けて

○外国人参加者を増やすため、既存の外国人コミュニティを見つけ、つなげる方法を探す。  
○外国人参加者が活躍できる場としての交流会などを企画する。  
○問題意識を共有し活動に伴走することで、ボランティアスタッフのやりがいを感じる場面が増やせるようサポートしていく。